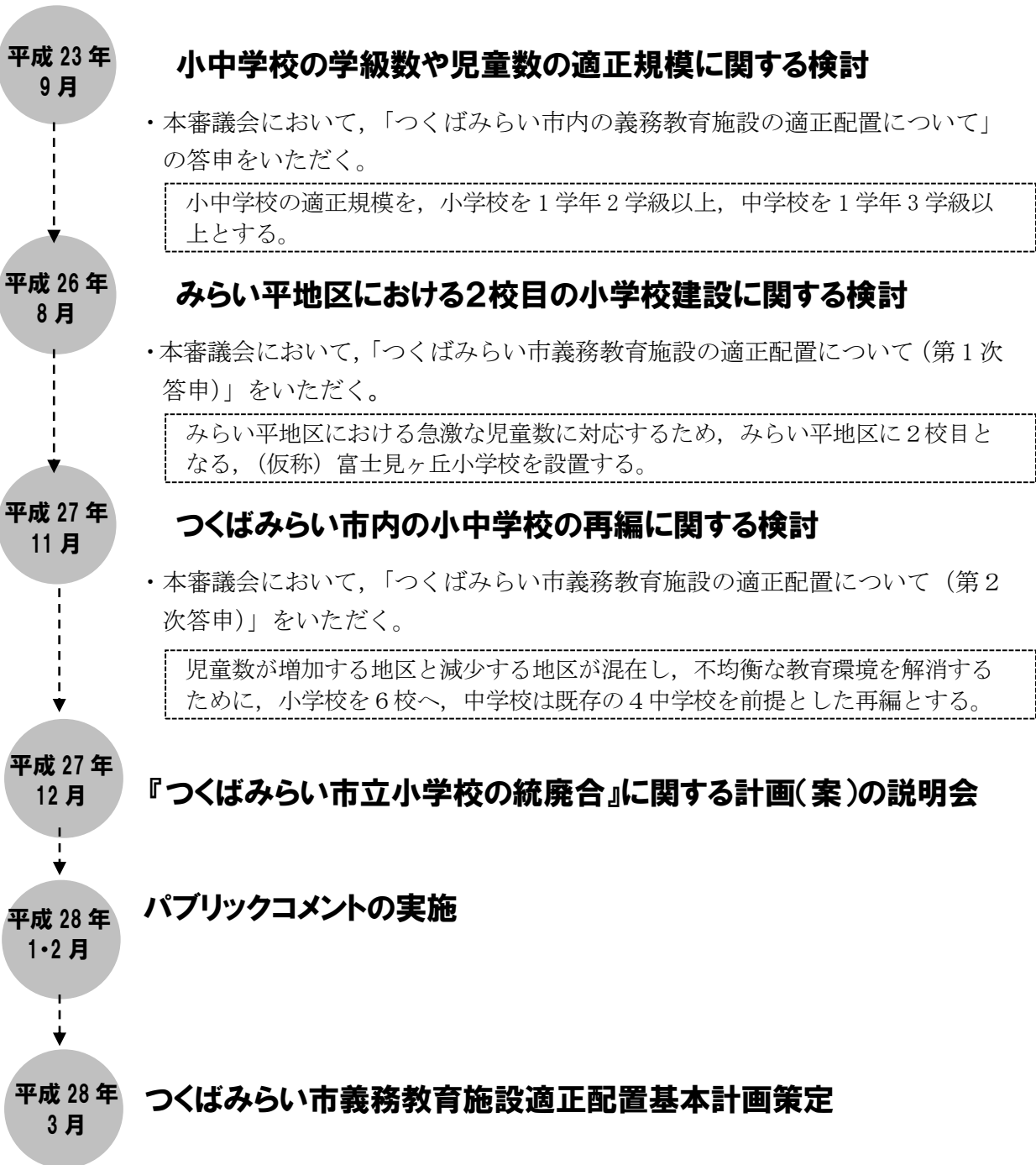


つくばみらい市立三島小学校区における意見交換会
(これまでの経緯について)

平成 28 年 12 月 13 日

1 これまでの経緯について

つくばみらい市の義務教育施設に関する検討のため、平成 21 年に「つくばみらい市義務教育施設適正配置審議会」が立ち上げられました。同審議会におけるこれまでの検討経緯については、下記のとおりとなっています。



2 『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画（案）の説明会

義務教育施設適正配置計画に関して、市民の皆さんからのご意見を直に伺う機会となる「『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画（案）の説明会」の開催を行いました。

- ・日時：平成 27 年 12 月 3 日, 7 日, 8 日, 13 日, 14 日, 15 日, 17 日, 20 日
- ・場所：伊奈公民館(3 日～8 日, 20 日)・谷和原公民館(13 日～17 日)
- ・参加者数：482 人(延べ人数)

□寄せられた主な意見（抜粋）

谷井田小学校区 参加者数 27 人（平成 27 年 12 月 3 日(木)午後 7 時～ 場所:伊奈公民館）
・平成 21 年から学校適正配置の取組を行なっていることについて、時間がかかりすぎている。 ・今回の計画案の策定期間が短すぎることや住民説明会を先に行うべきではないかと思う。 ・統廃合における合意形成をスピーディーに進めるべきだと思う。
小張小学校区 参加者数 62 人（平成 27 年 12 月 4 日(金)午後 7 時～ 場所:伊奈公民館）
・小張小学校が持つ歴史性を鑑み、みらい平地区と小張小を含めた学区割によって調整を図るべきと思う。 ・過大な陽光台小の児童を小張小へ振分けることで、小張小の存続を学校との関係で、陽光台小学校に統廃合するのではなく、他から児童を通学させて小張小や周辺既存校へ割振るべきだと思う。 ・みらい平地区の児童が小張小に通いたい、まわりが陽光台小に通うので、やむなく通っている方もいるという。小張小が廃校になることについては納得がいかない。
板橋小学校区 参加者数 24 人（平成 27 年 12 月 7 日(月)午後 7 時～ 場所:伊奈公民館）
・今後の進め方についてももう少し踏み込んで示してほしい。統合検討委員会の設置の時期やそれらの会議の検討期間、目標年次までに統合できなかった場合の対応などについて、ある程度の目処がほしい。 ・適正配置審議会の委員構成やその中で検討していた議論の内容などをオープンにしていきたい。
豊小学校区 参加者数 50 人（平成 27 年 12 月 8 日(火)午後 7 時～ 場所:伊奈公民館）
・まず発生している複式学級に対処すべきで、全体の統廃合に取り組むのは勇み足ではないかと思う。 ・統廃合によって豊小の校風が失われるのではないかと。地区住民の中でも豊小に愛着を持つ人も多い。そういった部分も考慮して検討いただきたい。 ・学校というのは大事なことで、学校を作るなら地域を見ることが一番。地域に何度も足を運んでいただき、地域住民の意見を踏まえて作ってもらいたい。 ・スクールバスを使う、道路の整備など様々な配慮事項があるが、結局は税金という形で徴収されることになるのではないかと。今のままであれば使わなくてよい金を使うことになる。

福岡小学校区 参加者数 76 人（平成 27 年 12 月 13 日(日)午後3時～ 場所:谷和原公民館）
・学校の統廃合を考える前に、人口減対策を講じておくべきではなかったか。 ・福岡小は高台にあり水害の面での安全性は高い。その面を考慮されずに統廃合の案を検討されているように思える。できれば、福岡小に谷原小・十和小を統合させるべきだと思う。 ・みらい平の児童を既存小学校へ割振ることも考えてほしい。逆に、福岡地区の子どもが(仮称)富士見ヶ丘小に通学することも考えてほしい。 ・学校に誇りをもってきた。地域に小学校だけは残してほしいと願っている。
十和小学校区 参加者数 42 人（平成 27 年 12 月 13 日(日)午後6時～ 場所:谷和原公民館）
・コストの面など全体メリットを考えれば、新規の小学校を造るより既存の小学校を活用するほうが良い。 ・スクールバス検討にあたっては、できれば 3km 未満でもバスが通るなら乗せていただきたい。
谷原小学校区 参加者数 28 人（平成 27 年 12 月 14 日(月)午後7時～ 場所:谷和原公民館）
・統廃合の目標年度は平成 35 年とあるが時間がかかりすぎではないか。 ・「地域文化の継承」と謳っているが、統廃合するということは、廃校になる学校の地域文化もあると思う。
小絹小学校区 参加者数 11 人（平成 27 年 12 月 15 日(火)午後7時～ 場所:谷和原公民館）
・新設校2校と既存地区の学校との施設的な平等性も考えてほしい。 ・みらい平地区にばかり税金を投入しているように見える。不公平感を感じる。
陽光台小学校区 参加者数 58 人（平成 27 年 12 月 17 日(木)午後7時～ 場所:谷和原公民館）
・陽光台小と小張小が統合した場合、過大な学校の状況が常態化し、良くない教育環境が続くと思う。 ・例えば、小張小が廃校となった後、中学校として利用することなども考えてほしい。 ・現在の中学校の選択制が無くなるのであれば、早く学区を決めていただきたい。 ・+ α の要素(特徴ある教育など)が既存の小学校にないと、みらい平地区から既存の学校に率先して通学意向を示すことは難しい。
三島小学校区 参加者数 59 人（平成 27 年 12 月 20 日(日)午前 10 時～ 場所:伊奈公民館）
・複式学級を早急に解消し1クラス1学級のレベルにしていきたい。 ・統廃合の推進にあたっては、反対意見を十分に尊重することに留意してほしい。
東小学校区 参加者数 45 人（平成 27 年 12 月 20 日(日)午後 2 時～ 場所:伊奈公民館）
・児童数が少ない状況は理解するが、それでも学校を残してほしいというのが正直なところである。 ・自分の子どもの頃を考えると、ある程度の人数がいてこそ学校だと思う。統合には賛成の意見である。 ・小学校がなくなってしまうたら、この地区はもっと人数が減り、過疎化が益々進むことになるのではないかな。 ・耐震化工事をするなど税金を使って綺麗にしたのであれば、これから先も学校として使っていけるようにしていただきたい。

(参考) つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会(三島小学校区)概要

日時：平成 27 年 12 月 20 日（日）10：00～12：00

出席：59 名（子どもを除く）



□主な質問・意見の概要

内容		回答
1. 説明会の趣旨について		
1	今後の説明会の位置づけについて教えてほしい。	市として、将来的には小学校は6つと考えが定まったということで、市として初めて考えを説明させていただいた。来年以降懇談会をして話し合いをしていく予定である。
2	今回の説明会で出た意見は反映されるのか。	今回は計画(案)ということで説明させていただいたが、反映できるものは反映したいと考えている。
3	これまでの説明会で出た意見で、重要な情報は共有したい。	みらい平を編入することはできないのか、また、どのような形が合意形成となるのかななどの質問があった。合意形成について、具体的な数値を持って、合意があったと判断することではないと考えている。
2. 計画(案)の策定経緯について		
4	学校適正配置審議会で検討してきたとのことだが、この構成委員はどのような方なのか。	審議会の委員構成は、小学校PTA関係者会長12名、校長会代表1名、区長会代表1名、市議会議員3名、学識経験者1名、公募による市民2名の計 20 名で構成されているメンバーで検討してきた。
5	これまで実施した審議会の内容を公開してほしい。できるだけ、情報公開をお願いしたい。	審議会の内容については、これまで審議途中ということで公開を控えさせていただいた経緯があるが、既に意思決定等されているので、今後できる限り情報公開の手段等を検討させていただきたいと考えている。
3. 今後のスケジュールについて		
6	平成 35 年までに統廃合を進めるということだが、まだ8年もあり、全体のスケジュール感がわからない。目標年度までに、どのくらいのスケジュールで統合するのか。	平成 35 年には小学校を6つにしたいと考えている。統合する時期は決まっていない。これからの話し合いのなかで、統合の機運が高まってからということと考えている。陽光台小学校でも準備に 1 年半はかかったもので、統合すると決まってからも1, 2 年くらいかかるのではないかと考えている。
7	来年度以降の説明会も今回と同様の説明会となるのか。	進め方については、今後検討していきたいと考えている。
8	説明会の案内はどのような通知方法か。郵送などの方法か。	広報や学校からの通知でお知らせすることを基本に考えている。また、来年度からは各学校に出向いて開催したいと考えている。

内容		回答
4. 計画（案）の内容について		
9	複式学級の解消には、どのくらいの期間がかかるのか。	本来ならすぐにでも解消させたいが、一方的にはできない。ただ、できる限り早く解消させたいと考えている。
10	複式学級を1学級1クラス的环境に早急にしていたきたい。	なるべく早急に、適正な規模としては6校、望ましいのは1学年2クラス、1学年20人以上という規模にしたいと考えている。できる限り早く解消していきたいということで進めたいと考えている。
11	市民意見をどのように吸収して反映されているのか。どのような意見が反映されているのか知りたい。	平成25年度に約7,000人を対象にアンケートを実施させていただいた。 さらに、PTAの代表の方や一般の公募の方も委員となっている審議会の中で、計画（案）を検討してきた。
12	反対意見を尊重してほしい。また、どのような方が反対しているのか。	100年以上の伝統のある学校だから、できれば残してほしい、という考えの方もいらっしゃる。一方、保護者の方は、ある程度の人数がいる中で子ども達を教育の場に送りたいという方が多い。
13	合意形成の方法はどう考えているか。	アンケートなどを取って具体的な数値があったからとかではなく、話し合いのなかで客観的に機運が高まってきたらと考えている。
14	公立の中高一貫校の構想はしているのか。	中高の一貫教育は現時点では検討していない。
5. (仮称) 富士見ヶ丘小について		
15	(仮称)富士見ヶ丘小学校の建設予定地は決まっているのか。	富士見ヶ丘2丁目18番地1が予定地となっている。東檜戸真瀬線を北通りに向かってすぐ左に曲がった右側になる。
16	(仮称)富士見ヶ丘小学校の建設は、いつから開始する予定なのか。	基本計画ができあがった段階で、今年度中に基本設計、実施設計を完了したいと考えている。平成28年の夏頃から着工予定となっている。
17	学区等については、二転三転あり、情報が錯綜し、我々父兄としては右往左往させられてきた。(仮称)富士見ヶ丘小学校の学区を早く決めてほしい。家庭の事情や準備がある。どのような流れになるかを教えてほしい。	学区については、陽光台小学校の開校にあたっては準備が整っていなかったことを申し訳なく思う。(仮称)富士見ヶ丘小学校についても、学区審議会で検討作業中で、正式なところは決まっていない。 ただ、(仮称)富士見ヶ丘小学校の基本設計、実施設計を実施する中で、学校の規模を決める必要があるため、現状では高速道路(常磐道)で区切った場合で、児童数を仮に決めて行っている状況である。
6. 中学校について		
18	中学校について、どのような検討状況となっているか。既存の4校を使うのか、新しい中学校を建設するのか、方向性について教えていただきたい。	今回の適正配置を考える上では、既存の4校を前提に検討している。みらい平地区については、谷和原中学校と伊奈中学校の選択制ということから、谷和原中学校が増加傾向にあり、このままの状態では教室が不足することが想定されているが、まちづくりの観点からも中学校のあり方については、今後も引き続き検討していくこととしている。